

# 会 議 記 録

政策企画局 まちづくり協働課

開催日	平成 21 年 5 月 18 日(月)	開催時刻	13 時 30 分から 16 時 15 分
会議名	上田中央地域協議会(平成 21 年度第 2 回)		
出席者	<p>小林会長、白石副会長、浅井委員、安藤委員、飯島委員、池田委員、一之瀬委員、岡田委員、荻原委員、栗田委員、栗俣委員、佐藤委員、塩入委員、田口委員、竹田委員、中村委員、宮本委員、森田委員、安井委員</p> <p>(欠席委員) 山極委員</p> <p>(事務局) 浅野まちづくり協働課地域振興政策幹、小宮山まちづくり協働課課長補佐、堀内まちづくり協働課主査</p> <p>(説明者) 大沢政策企画局長、伊藤交流・文化施設建設準備室長</p>		
<p>会議次第</p> <p>1 開会(浅野まちづくり協働課地域振興政策幹)</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>先日、第一分科会のまちなか歩きに参加させていただいた。地域の方々はそれぞれ地域の歴史遺産をしっかりと守っておられることに感じ入るものがあった。歴史的資源を保存活用したまちづくりということを検討課題とし、この取り組みについて更に進めていきたいと考えている。また、下之郷の循環型資源焼却施設についても、残念ながら白紙撤回の形になった。ごみ減量化問題について、上田市としては避けて通れない課題だけに、市民としてできること、やらなければならないことを明確に打ち出していく必要がある。第二分科会からお話があると思うが、何らかの提言をまとめていきたいと考えている。皆様方のお力添えを、よろしくお願いしたい。</p> <p>3 会議事項</p> <p>(1) J T 開発地における交流文化施設のありかた中間報告について</p> <p>局長あいさつ</p> <p>「J T 開発地における交流・文化施設のありかた中間報告」より担当室長から説明</p> <p><b>【質疑応答】</b></p> <p>(委員) 全体整備事業費 150 億円ということだが、用地費はいくらになるのか。</p> <p>(室長) 全体事業費は上限として 150 億円で設定させていただいている。全部を使い切るということではない。この中には、用地費・施設建設費・広場・駐車場整備費・設計等諸経費・備品購入費・現在の市民会館の解体費も含んでいる。用地費の関係はまだこれからだが、約 20 億円を見込んでいる。</p> <p>(委員) 主な事業展開の例のところ、「興行等民間利用にも積極的に貸出し」とある</p>			

が、今まで市民会館を含めて、むかしは興行等行っていた地元の方たちが、今はどうして行わなくなったのか。理由は何か。そのような点は検討委員会の中で意見聴取や調査をされて対応もされているのか。

(室長) 現在の市民会館は、あくまでも貸し館的な機能として活用されている。ステージの大きさが限られていたり、楽屋周りも限られている。フルオーケストラなどクラシックコンサートや有名アーティストの公演などが現状では行われていないというのが実体かと受け止めている。市内には丸子文化会館・セレスホールがある。ここでは自主事業が何本か計画されているし、貸し館としても利用いただいている。今の市民会館は、現実的には十分なホールとしてなかなか利用していただけない。というのは収益をあげにくい規模であるということである。貸し館として利用していただくには 1500 席程度以上ないと難しいと、県内の専門家の皆さんや関係する皆さん方にアドバイスをいただいている。検討委員会は市民の皆さん方を中心に 25 名で委員構成されている。このサブ組織に専門委員会という組織を 9 名で構成している。この 9 名の中には現在プロモーターとして活躍されている方や、日本クラシック協会の副会長さんに入っていたり、様々な舞台公演などのノウハウを持っている方々に加わっていただいて、アドバイスをいただいている。検討委員会の中では、現在の市民会館の状況や市内の文化施設の状況等についても説明し、幅広くご意見をいただきながらこのような中間報告にまとまってきた。

(委員) 一昨日だと思うが、日経の一面のところに長野市の市民会館のことが載っていたと思うが、冬季オリンピックのときに設備したものが、運用費が赤字になってしまい、利用料を値上げしなければいけないとあった。利用料についてどのように考えられているのか。

(室長) まだそこまでは踏み込んでいない。利用料についてはこれから議論をしていくところだ。今までの利用料より大幅な増加にならないように配慮して欲しいというご意見、そして小中学生の利用については減免措置等、引き続き検討していきたい。中間報告の段階ではホールにおいても、1500 席から 1700 席と幅がある。これから市民の意見を踏まえて、最終的な報告の中では規模を絞り込んで参りたいと考えている。

(会長) 昨年の 2 月に中央地域協議会において、ふるさと先人館構想をお願いした。美術的なことや芸術的な部分での資料的なものはあると思うが、今日の日本や上田地域で目覚ましい働きをした先人たちを、どこで顕彰されていくつもりなのか。JT 開発地には限ってないが、行政の見解をお聞きしたい。

(室長) 中間報告を説明させていただき経過の中で、平成 19 年 4 月に現在の市民会館の移転を機軸としながら、文化的な機能も考えていくということを受けて、検討委員会で様々な議論をさせていただいている。現在の市民会館の移転改築なのでホール機能を中心としながら、美術館機能も併せ持って考えて欲しいという

要望やご意見もある。専門家の方からも「ホールの部分についてはある程度、公演がなくては人は集まらない。会議室や練習室の貸出などの使い方もあるが、大ホールのほうはそこで催しが行われないと集まらない。美術館だったら作品もあり、アトリエを活用する事によって、常に人が集まってくる。上田市の文化の顔を作っていくには、美術館も大切だ」という御意見をいただき、今回このような提案になっている。現在の山本鼎記念館の機能と石井鶴三さん、商業写真家のハリー・K・シゲタさんの作品と中村直人さんの作品を中心としながら美術館機能を移転し、常設または企画展示等、組み合わせながら展開していきたい。美術館の中には、市民の皆さん方の作品の展示や、先人の方々の展示を行うなど、様々なことが可能だろうと考えているので、それを踏まえて、最終報告につなげていきたい。

(会長) 過去があるから現在があり、現在があるから将来につながる。過去についてもう少しスポットを当てる方向を市としても考えて欲しい。小河滋次郎さんが民生員制度をスタートさせて、今年で95年になる。表彰しているのは大阪の方だ。上田出身の方なのに地元での認識はゼロに近い。上田市民にとっては恥ずかしいことだと思う。そういう部分に上田市はもう少しメスを入れていただきたい。

(委員) 山極勝三郎さんの資料館があるが、充実していく方向で考えていただきたい。上田市を知っていただくにもひとつのスポットになるのではないかな。

常設の美術品はどのようなものが入るのが、お聞きしたい。

(室長) 現在の山本鼎記念館の機能を持っていきたいと考えている。上田城跡公園は文化庁の史跡指定を受けている。現在の市民会館と山本鼎記念館などは、移転改築施設と位置づけられている。そのことも背景にある。山本鼎の作品は現在620点くらい保管をしていて、貴重な財産をお預かりしていると認識している。他の作品についても同じことが言えると思う。このような作品群があるのだから、今回の施設整備にあわせて収納庫も設置をしながら、常設・企画展示ができるようなスペースをあらためていきたいという計画になっている。

(委員) 石井鶴三美術館についてはどうなのか。

(室長) 石井鶴三美術館については去年移転をして、小県上田教育会館の2階の部屋を展示スペースにしている。管理は小県上田教育会館が行っている。上田市で、石井鶴三さんの作品を26点ほどブロンズ化してきたという経過がある。石井鶴三さんの功績をたたえ、作品を内外の皆さんに見ていただくこと、市が財政負担しながら作品作りをしてきた。現在は、市から委託をして小県上田教育会館が展示を行っている。

(委員) 市民会館の建物の規模については、大いに論議したほうがいいのではないかな。企画展もやられるという事になると、ソフト面も十分に論議していただきたい。どう生かすのか詰めてからスタートしていただけたらと願っている。

(会長) 市長からの委嘱諮問機関ですから意見を言う立場ではないが、希望としては

いろいろな各層のメンバーが集っているので、そういう意見も大事に受け止めて  
いただきたいと思います。

## (2) その他

わがまち魅力アップ応援事業の再募集と広報掲載記事について（事務局から）

- ・上田広報 6月1日号のわがまち魅力アップ応援事業の掲載記事について
- ・資料「平成21年度『わがまち魅力アップ応援事業』追加募集のお知らせ」により  
事務局から説明

5月25日（北国街道）、5月27日（駒ヶ根市）の視察の諸連絡について  
事務局から説明

## (3) 分科会協議

### 【協議内容】

- ・第一分科会：歴史的な資源を保全・活用したまちづくり

前回のまち歩きの反省や気がついたところを話し合った。90%くらいは知らないところを歩いたので、驚いた。子どもたちに宝物として引き継いでいきたいところも多い。また、他地域の方が歩いてわかるように、北国街道の統一した標識が欲しいという意見もあった。2回目のまち歩きがあるので、旧跡・名所のポイントを皆さんに挙げていただいた。

- ・第二分科会：ごみ減量化問題について

駒ヶ根に視察に行くので、その検討をした。施設について事前に勉強をし、大まかな質問を考え、事前に駒ヶ根市に送る。現地の説明を聞きながらあらたな質問も出てくると思うので、2本立てで進めていこうと思う。

市民の皆さんに危機意識を持っていただき、自分の問題としてごみ減量化を進めていただけるよう、協議会ではどのようなことができるのか。先進地域で視察し勉強しながら、次の手立てを考えていきたい。

## 4 その他

- ・次回会議の開催

平成21年6月25日（木）開催予定

閉 会